

旧学習船「うみのこ」木甲板を利用したシンボルマーク完成

旧学習船「うみのこ」の木甲板を利用し、記念に残る何かを制作できないかと模索していたところ、蒲生郡竜王町の「河平木材株式会社」様が、この木甲板を利用し、フローティングスクールのシンボルマークを作ろうと申し出て下さいました。板を何枚も重ね、木彫を生かした美しい仕上がりのシンボルマークは、令和3年1月21日（木）に、代表取締役社長、河村圭悟様より、フローティングスクール所長に手渡されました。河村社長は「初代「うみのこ」が解体されたのは残念だが、表面を磨けば木の美しさは何世代にも渡って残っていくもの。こうして、木のぬくもり、木の良さを伝えられることは嬉しい。」とおっしゃって下さいました。

完成したシンボルマークは、新しい学習船「うみのこ」に飾り、乗船した児童が見られるようにしていきます。

